

パブコメ集計結果(特別研究員)

1. 総数: 348件

2. 賛否について:

○賛成:	343件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	4件
○反対:	1件
計	348件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・本制度は「我が国科学研究の未来資産」を構築する特別な意義を持つ大変重要な施策です。縮減してはなりません。
- ・特別研究員事業は、数学などの理論科学研究においては、キャリアパスとして既に重要な位置にあり、特に、PD の拡充が望まれると考えます。
- ・積極的に進めるべきである。資源の乏しい日本の将来のためには、科学・技術の発展が必須であり、その根底を支える若手研究者は最も重視されるべきもの。
- ・科学技術創造立国を目指すわが国にとって、将来を担う若手研究者を自前で育成することは、生命線であるといえます。
- ・特別研究員事業は、ポスドクの生活保護との指摘があるが、この指摘は適切ではない。生活保護という政策ならば、ポスドク全員に支給されるべきである。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・大学院生(DC)については現状のままでよいが、有力な大学教授を指導者に持つ大学院生のみが支援を受けやすい状況を改善する必要がある
- ・現状の制度を改善していく必要はあるが、採用人数に関しては現状を維持するべきだと考える。さらに分野間流動性を高めるような制度に改革していただきたいと思います。
- ・見直しが必要である。博士課程進学者への一律支給もしくは授業料免除に切り替えるべき。

③反対

- ・制度改革し、この事業は廃止するべき。ただし競争的資金の増額、審査基準の改革とセットで考えるべき。